

# 福きで行く Singapore

親孝行旅  
M子

## きっかけは…は、ハメられた

3月の連休に4日間のツアーで、初めてシンガポールに行った。今回の同行者は家人の親御殿。ショッピングのイメージの強いシンガポールしかもツアーということで、私に全く似合わないという人も周囲にいたりはなかったけど、親孝行なのでまあいいじゃないですか。



以前、マイル航空券で香港に行くことにして、その時に親御殿を初海外に連れて行った事があった。年寄りの割に食べて食べて食べまくり（メンバー姐さんの会誌連載「姐的香港料理指南」がその際の良い参考になりました。ありがとう）、非常に喜ばれて折に触れては「香港は楽しかったなあ」といわれていた。それが最近「香港は楽しかったなあ…パスポートももうすぐ切れるしなあ…」というロングフレーズになり、どうもこれは要求されているわけかと。ところがツアーの予約を入れるのにパスポートのコピーをFAXしてもらったところ、有効期限は2006年5月。もうすぐじゃないやんか！まんまと騙されてしまったらしい…（苦笑）

まあ、そういうわけでシンガポールへ。親御殿は全員足があまり良くないやら白内障やらの問題を抱えている。歳も歳だ。そのために近場で安心して行ける場所、衛生的にも大丈夫そうな所で、バリアフリーに近いところと考えると、アジアはシンガポールが浮かぶわけ。とはいっても、さすが大阪のおバちゃんらは気も口も元気そのものなんだけど。

## 無料悪くはないもんだ

観光は自分だけなら足で歩くのだけど、今回の主役は自分じゃない。主役向けに、ツアーに半日観光をセット。ポートクルーズも昼食も付いていて、無料の唐館はなかなか充実。マライオンにも初めてお目にかかったけど、あれだけ世界三大がっかり名所と有名なだけじゃ心構えができていて、**おおこの方が、かのガッカリ有名な**

… お初にお目にかかれて光栄ですって気分でもっと感動してしまった。回りの風景にもとけ込んでいて、そんなに悪いとは思わなかったっす。パケットツアーも使いようですな。親御殿、ツアーの写真屋のいいモデルに。まあ親孝行旅とハッキリわかる組合せゆえ、超カモられてるんだけど。写真セット約5千円は高すぎるぞ。

## シンガポールは東映大森映画村か？

しかし車窓から思ったのだけど、なんかシンガポールって落ち着かない。何故落ち着かなかったのか、無料ツアーの最後でインド人街に寄り、そこで理由がわかった。

シンガポールは人の匂いがしない。未来的超高層摩天楼も上海も香港も汐留もシンガポールも同じようなものなのだけ。ここはその足下に人の生活が見えないのだ。摩天楼の足下は、芝生と歩道の境目がクッキリ分かっているほど美しく整備された公園。でもくつろいでいる人の姿がない。第一、この高層ビルに人がいない。次に行ったインド人街で、人の生活が感じられる街並みと匂いを見てホッとしてしまった。その時、この国ご自慢の摩天楼部分が映画のセットで、それに気づかずにいるような気がして、私は落ち着かなかったのだとわかった。さらに脚本通り動かないと、周囲が困惑してしまうトゥルーマンショーのジム・キャリーになった気がしたのか

**総括** トータル費用は多分50万。貧乏人には結構な出費だけど、まあ親御殿がいい思い出だと、とても喜んでくれたからよし。親不孝者の罪滅ぼしと思えば安いもんだ。と、金を払っているにもかかわらず、何故このタイトルが**福きで行くシンガポール**なのか？そもそも福き当たるほどの強運の持ち主ではないし。それは日本近辺はチラホラと行っているけど、シンガポールとグアムだけは私にとって、この旅行サークルで行くか（事実、グアムはそうだった）、もしくは福きに当たって行くところであるという認識だったのだ。そしてそのポリシーに反してお金を出して行ったシンガポール自体の感想なんであるが、まとめて一言で言えば **福きに当たって行くところ**。そのまんまだった。人によって感じ方は違うので、シンガポールのことが好きな方とその気持ちを否定するつもりも何もないんだけど、ワタクシM子的には福きに当たって上り唐館え膳お任せで行くのがよろしいようで…。<M子>

も？ オーチャードロードにはシンガポリアンが沢山歩いているけど、なんか若者ばかりで胡散くさい。気のいいお年寄りはどこへ？ きっとこの若者達はレプリカントに違いない。ブレードランナーか、この街は、一体私はどこにおるんやろ？

## ささやかなお気に入り

個人的に秀逸だったのは、インド人街のインコ占い。ホッとしたインド人街で、こんな怪しい（けどかわいい）事を見せてくれるなんて、なかなかイカしてるじゃないですか。これも無料半日観光に込み。親御殿にもえらく大ウケて。これはオススメ。



## パケットツアーも捨てたもんじゃない

今回シンガポールとオプションのジョホールバルで世話になったそれぞれのガイドさん。足の悪い親御殿にあまり移動しなくてもいい席を選んでくれたり、手を引いてくれたり、至れり尽くせり。ホテルは中心部メリタス・マンダリンの安いツアーだったが、気を利かせて高層階のコネクティングルームを交渉してくれた。窓から見えるオーチャードロードは、夜景もキレイで親御殿も大喜び。付け焼き刃で親孝行してる私よりも気を使い、実は一番孝行してくれたのはこのガイドさん達だったと花マル三重丸を捧げたい。パケットツアーもいいもんだと思ったのが今回の収穫かも。